

みずほCustomer Desk Report 2016/11/30号(As of 2016/11/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.69	1.0618	118.61	1.0127	1.2407	0.7495
SYD-NY High	113.34	1.0654	119.96	1.0176	1.2527	0.7497
SYD-NY Low	111.62	1.0565	118.58	1.0112	1.2388	0.7432
NY 5:00 PM	112.40	1.0650	119.67	1.0122	1.2495	0.7483
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13/13.4		△25RR	0.395	Yen Call Over	
NY DOW	19,121.60	23.70	債券市場			
NASDAQ	5,379.92	11.10	日本2年債	-0.1700	▲2.4bp	
S&P	2,204.66	2.94	日本10年債	0.0200	▲0.2bp	
日経平均	18,307.04	▲49.85	米国2年債	1.0871	▲1.2bp	
TOPIX	1,468.57	▲1.01	米国5年債	1.7746	▲1.5bp	
シカゴ日経先物	18,365	70.00	米国10年債	2.2910	▲2.1bp	
ロンドンFT	6,772.00	▲27.47	独10年債	0.2210	1.6bp	
DAX	10,620.49	37.82	英10年債	1.3700	▲1.0bp	
ハンセン指数	22,737.07	▲93.50	豪10年債	2.7040	0.7bp	
上海総合	3,282.92	5.92	為替市況	USD/CNH	6.9136	▲0.0139
USDJPY 3M Vol	12.40	▲0.06%	商品市況	ドルインデックス	100.97	▲0.36
USDJPY 6M Vol	12.52	0.04%	CRB指数	183.979	▲3.78	
EURJPY 3M Vol	11.57	0.09%	NY金	1,190.80	▲3.00	
EURJPY 6M Vol	13.04	0.40%	WTI	45.230	▲1.85	
			Dubai Spot	44.73	0.97	

東京	前日海外時間の下落の流れを引き継ぎ、東京時間オープン前に一時111.62まで下落。かかる中、東京時間のドル円は111.69レベルでオープン。111円台後半では押し目買い意欲も相応に強く、一旦下げ止まる流れとなると112円超えまで反発。その後は日経平均株価の低調な値動きなどを横目に112円近辺でもみ合い推移に終始した。午後に入り、「朴韓国大統領が進退問題について国会の決定に判断を委ねると表明した」とのヘッドラインが伝わったものの、市場の反応は限定的。112.03レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は上昇した。112.03レベルでオープン。米金利の上昇や欧州株がおおむね堅調に推移した事を背景にじりじりとドルが買われ、113円近辺まで上昇。112.95レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.2411レベルでオープン。英10月住宅ローン承認件数が6万7518件と前月の6万3594件から増加した事が好感され、1.2490まで上昇。その後は1.24台後半で揉み合い、1.2470レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は東京時間の安値の111.62から徐々に買い戻され、112.95レベルでNYオープン。朝方発表された米7-9月期コアPCE(前期比)は市場予想と一致したが、個人消費の大幅上方修正が寄与し、米7-9月期GDP(年率/前期比)が市場予想を上回る数字となると、ドル円は113.34まで上昇。しかし、原油減産条件を巡りサウジアラビアとイランが対立しているとの報道もあり、翌日のOPEC総会への不透明感からWTI原油が下落するとドル円は112.60まで反落。その後、発表された米11月消費者信頼感指数が予想を大きく上回り、一時113.07まで反発するものの、米長期金利の低下や月末の利益確定のドル売りなどと相俟ってじり安の展開に112.27まで下落。112.40レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0588レベルでNYオープン。朝方は堅調な米経済指標を受けて安値の1.0565まで下落。しかしその後、米長期金利の低下を受けてドル売りが強まるとユーロドルはじり高推移となり、1.0654まで上昇して1.0650レベルでクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
11月29日	8:30	日			
	18:30	英	失業率/有効求人倍率	10月 3.0%/1.40	3.0%/1.39
	19:00	欧	住宅ローン承認件数	10月 67.5K	65.0K
	22:00	独	消費者信頼感-確報値	11月 -6.1	-6.1
	22:00	独	消費者物価指数-速報値(前月比/前年比)	11月 0.1%/0.8%	0.1%/0.8%
	22:00	独	EU基準CPI(前月比/前年比)	11月 0.0%/0.7%	0.1%/0.8%
	22:30	米	GDP-改定値(年率/前期比)	3Q 3.2%	3.0%
11月30日	0:00	米	消費者信頼感指数	11月 107.1	101.5

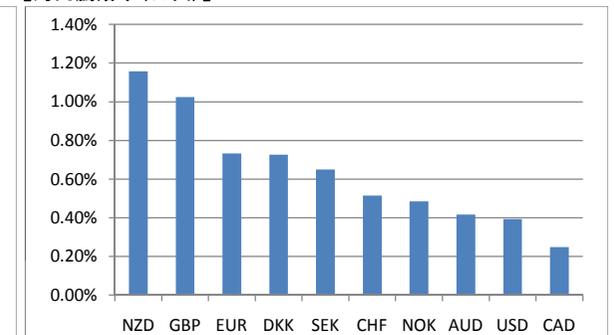
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日	
11月30日	8:50	日			
	19:00	欧	鉱工業生産-速報値(前月比/前年比)	10月 0.0%/ -1.3%	0.6%/1.5%
	21:45	欧	CPI手続/CPIコア(前年比)	11月 0.6%/0.8%	0.5%/0.8%
	22:00	米	ドラギECB総裁講演	-	-
	22:15	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	22:30	米	ADP雇用統計	11月 170K	147K
	22:30	米	個人所得/支出	10月 0.4%/0.5%	0.3%/0.5%
	22:30	加	GDP(前月比)	9月 0.1%	0.2%
	23:45	米	シカゴ購買部協会景気指数	11月 52.5	50.8
12月1日	1:45	米	パウエルFRB理事講演	-	-
	2:35	米	メスター・クリーブランド連銀総裁講演	-	-
	4:00	米	ページブック公表	-	-
	-	-	OPEC総会	-	-
	-	-	ユーロ圏財務相会合	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.10-113.20	1.0580-1.0720	119.00-120.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円相場は、上方向に行って来いの値動きとなった。米7-9月期GDP改定値が市場予想を上回ったことを受けて113.34円まで上昇したが、その後利益確定の売りが入り、また、原油価格が急落したことも圧迫要因となって軟調に推移し、112.40円でクローズした。本日は上値の重い値動きを予想する。トランプ次期大統領による財政支出の大幅拡大と利上げに対する期待感からドル買いの地合いは続くと思われるが、本日のOPEC総会に対する不透明感や、週末には米11月雇用統計の発表を控えていることから動きづらく、上値は限定的になるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。